

# 2009 春季生活闘争

# 公平な利益配分を訴え 働く者の暮らしを守ろう!

# 紙パ連合

発行所  
日本紙パルプ紙加工  
産業労働組合連合会  
〒107-8333 東京都港区北青山  
2丁目12番4号  
TEL 03-3402-7656  
FAX 03-3402-7659  
URL <http://www.jpw.or.jp/>  
発行人 鈴木辰男  
購読料は組合費を含む  
定価2頁10円、4頁20円



第1回中央闘争委員会で、闘争序盤のとりくみを確認しました

紙パ連合は二月十九日、紙パ連合本部会議室で「第一回中央闘争委員会」を開催し連合と各産別の動向、各組合のとりくみ状況を確認する中で、序盤のとりくみにあたって当面の方針・その一を確認しました。冒頭、挨拶した鈴木委員長は「二〇〇九春季生活闘争は、各産別・組合が要求提出の段階に入っている。世界的な不況によって日本経済も極めて深刻な局面に立たされている中で、紙パ産業は一定の収益を確保している。その背景には、価格修正の効果に加えて、これまでの各社における大規模なリストラなど各種の経営施策に対する組合員の懸命な協力・努力が、企業体質を強化してきた結果であり、企業業績を下支えしている組合員への公平な利益配分を求めよう」と訴えました。その後、各組合のとりくみ状況を把握する中で、第一次集中決着日（三月十八日）にむけ、精力的に交渉を展開していくことを確認しました。

## 〇九春季生活闘争 当面の方針その1

序盤のとりくみにあたって

### 一、情勢認識と基本的な姿勢

#### 全般の春季生活闘争情勢

JC（金属労協）傘下 じめとする労働条件改善の大手組合が賃上げを要求を会社へ提出し、二

〇〇九春季生活闘争が本格的にスタートした。

日本経済は米国発の世界的な金融危機による経済の減速によって、これまで成長を牽引してきた外需が減少する中で深刻な状況に陥っており、昨年十二月の各種経済指標は軒並み歴史的な悪化を示している。また史上最長となった経済成長下において、勤労者に対する適正な配分を行わなかったことにより内需の中心となる個人消費は長期にわたって低迷している。

こうした中、二月十日に開かれた二〇〇九春季生活闘争開始宣言中央集会以連合は、「大変厳しい環境であるからこそ労働組合の社会的責任を果たすことが重要である」とし、「物価が上昇し我々の賃金が実質的に目減りしている中で、賃上げこそが最大の景気対策となる。雇用が賃金ではなく、『賃金も雇用も』という要求を堂々と行い、労働を中心とした福祉型社会へと日本を変えていくの一步として、今春闘に全力を尽くそう」と訴えている。

### 闘争への基本姿勢

一方、紙パルプ・紙加工産業の現状は、日本経済の悪化を受けて需要が急激に減少しており、昨年十一月以降、国内の生産・出荷は紙・段ボールともに対前年同期比で過去に類を見ないほどの大幅な落ち込みとなっている。さらに、二〇〇九年の紙・板紙の国内需要についても、前年比マイナス八・〇%の大幅な減少となり、一九九四年以来十五年ぶりに三千万トンを超えて減少している。こうした状況下、各社においては過去最大規模の減産を余儀なくされており、二〇〇九年三月期の業績は企業ごとにバラツキはあるものの総じて減益の見通しとなる。

しかし一方では、このような厳しい状況の中で一定の収益が確保できているのは、価格修正の効果に加えて、これまでの各社における大規模なリストラなど各種の経営施策に対する組合員の懸命な協力・努力が、企業体質を強化してきたことによる結果ととらえられる。今後、労働人口の大幅な減少が予想される中で、付加価値や競争力を生み出す優秀な人材を確保することは最も重要な課題であり、そのためには「賃金改善」によって労働条件と産業の魅力を高めていかなければならない。

景気の後退による需要の急激な減少など、産業の厳しい状況は、二〇〇九春季生活闘争の序盤のとりくみを積極的に展開していく。

2009春季生活闘争・主要産別の要求方針状況 (紙パ連合調査部)

主要産別	賃上げ要求	一時金要求
自動車	4,000円以上の賃金改善分を設定することを基本	年間 5.0ヵ月基準、昨年獲得実績以上
電機	賃金体系の維持+賃金改善分(水準改善額4,500円)	平均で年間5.0ヵ月分を中心、産別ミニマム基準は年間4.0ヵ月
JAM	賃金構造維持分+4,500円以上、維持分確認できない単組は9,000円	年間5.0ヵ月・半期2.5ヵ月、最低到達基準=年間4.0ヵ月・半期2.0ヵ月
全電線	賃金体系の維持+賃金改善分	成果反映を合わせ年間5ヵ月中心、産別にミニマムは平均原資年間4ヵ月
UIゼンセン	制度に基づく昇給昇格(賃金体系維持分)とは別に、2%または5,000円、賃金体系維持分の社会的水準を含め、9,500円基準の賃上げを要求	年間5.0ヵ月基準
JEC	4,500円以上の月例賃金の改善	前年年収の維持向上、年間4ヵ月未満の単組は、4ヵ月
ゴム	所定内賃金の1%を基本に設定	前年度実績を基準、現在の企業環境を踏まえ取組む
セラミックス	賃金引上げ2,000円基準、算出困難な組合は所定内賃金の2.5%	年間4.8ヵ月を基準・ミニマム4ヵ月
フード連合	定昇込み10,000円、またはベア5,000円、算出困難な組合は8,500円以上とする。※年収の下支えとして80,000円以上	年間6ヵ月を基本に最低でも4ヵ月
運輸労連	3%(定昇相当分1.5%+物価上昇相当分1.5%)、7,200円中心	年間120万円(5ヵ月)以上、夏季60万円(2.5ヵ月)以上

### 二、序盤のとりくみに向けて

- 各組合は、産別統一要求基準を踏まえた中で要求を決定し、二月二十七日(金)までに要求提出を行い、直ちに団体交渉を実施する。
- 団体交渉にあたっては、要求に確信をもち、粘り強く納得いく交渉を積み重ねていく。
- 交渉にあたっては、深刻さを増す国内経済

### 三、今後の闘争日程

- 要求提出  
2月27日(金)まで
- 集中決着日  
3月18日(水) 第一次集中決着日  
3月25日(水) 第二次集中決着日
- 闘争諸会議  
3月9日(月) 第二回中央闘争委員会兼日グループ会議  
3月14日(土) 第三回中央闘争委員会兼日グループ会議  
3月20日(金) Sグループ会議
- 統一行動日  
3月17日(火) 統一ピラ配布行動、他
- 経営対策  
3月16日(月) 第二回日本製紙連合会労務部会への申し入れ

止め」を基本に、これからの人材確保、生活防衛・維持、活力やモチベーション維持につながるよう追求する。

③一時金交渉において、生活給の一部として安定確保が欠かせないことを訴えるとともに、一時金の社会水準確保や、経営諸施策に対する組合員の協力・努力への成果還元を求めていく。

④この他の産別統一要求である六十歳以降の雇用継続制度拡充、総労働時間短縮、連続休暇、パート労働者等の処遇改善、その他の独自要求についても、要求の実現にむけていく。

⑤ヤマ場の設定については、連合主要産別の動向を踏まえ、第一次集中決着日を三月十八日(水)、第二次集中決着日を三月二十五日(水)とする。

③ 中央闘争本部ならびに地方闘争本部は連絡を密にし、団体交渉の促進や経営対策、支援オルグなど、きめ細かな戦術対応を指導・実践する。

④ 各グループ会議・共同は相乗効果が高めるため、内外の情報収集・提供など連携を密に行う。



# 各地本で単組・支部代表者会議ひらく

## 春闘に向け 一致団結図る

【北海道地本】

一月三十一日、第二回単組支部代表者会議及び〇九春季生活闘争決起集会を札幌にて、各労組三役、紙パ本部中山中央執行委員が参加し、総勢四十九名で開催しました。冒頭、前田地本執行委員長の挨拶では、日本経済の状況、紙パ産業をとりまく現状、安全についての話がありました。報告事項では一般経過報告・二〇〇八秋闘年末一時金支給状況の報告・紙パ連合第十六回中央委員参加報告が行われ、審議事項では二〇〇九春季生活闘争北海道地本のとらぐみ・第九回海外視察研修の実施時期について

## 情報を共有し 春闘に挑む

【東海地本】

単組・支部代表者会議を、二月二十二日に静岡市クーパーホール会館にて開催しました。千葉委員長挨拶では「定期昇給の確保ができていない賃下げ交渉は応じざるべきでない、一時金は年間集約で確保してほしい」との話がされました。紙パ連合島居中執からは、世間全般の厳しい春

とが大切となってきてお運動について」と題して、可処分所得を増やす講演を行い、労働組合役員として必要とされる知識を踏まえた保証設計

## 組合員の協力・ 努力を訴える

【関西地本】

二月八日に大阪府吹田勤労者会館にて、第二回単組支部代表者会議を、本部および、二十一単組が、組合員の会社施策への協力・努力を訴え、要求額を獲得できるように、冒頭、紙パ連合自念副委員長より、米国に端を発した金融不安により、日本経済においても十一月以降、休転直下で景気が後退し自動車・電機産業が赤字となっている。紙パ産業の収益予想は、

## 組合員のための 交渉を



四国地本・中川委員長

【四国地本】

二月二十一日に、島ワシントンホテルプラザにて、第三回単組支部代表者会議・春闘

## 今まで以上の 共闘体制を



紙パ連合・橋本中央書記長

【中国地本】

二月十二日、ワークピア広島にて二〇〇九年春季闘争学習会が開催され、紙パ連合本部橋本書記長、中国労働金庫瀬光審査管理課長を講師に迎え、総勢三十七名の代表者が集う学習会となりました。橋本書記長より、国内の経済情勢は世界的な金融危機の影響で外需が減少し深刻な状況であること、二〇〇八年上半年の一部上場企業の倒産は戦後最多を更新している等の説明があり、紙パ産業の動向では、国内外における出荷量の大幅な落ち

## 要求の重さを 再認識

【九州地本】

二月五日、日本製紙労働組合八代支部会議室において、二〇〇九春季生活闘争・単組支部代表者会議を開催しました。会議では、地本委員長熱い議論をつくり審議されたことが説明され、今回より、最新情勢、他産別回の要求について一同

## 何でも通信 「トーク・ラリー」 スタート

紙パ連合教育広報委員会では、機関紙「紙パ連合」の内容の充実を図る目的として、紙面に「トーク・ラリー」(仮称)を設け、皆さんからの投稿記事を募集することが確認されました。最初は教育広報委員会を中心に記事を掲載していきますが、左記の要領で皆さんの記事もお待ちしておりますので、よろしく願います。○文量は「二十行」程度。○内容はどんなことでも構いませんので、個人・単組、または地域でのトピックスや日頃感じていることなど、読者に楽しんで頂けるような内容が良いのではと思います。○写真もありましたら添付してください。○寄稿方法は紙パ・島居までご連絡ください。

## トーク・ラリー

王子製紙新労組 三浦 高弘

「特別賞」初受賞 関紙フェスティバル

去る一月二十六日、関紙フェスティバルが開催されました。フェスティバルでは、(株)かんしで印刷した新年号すべてを対象(約百社)に、機関紙コンクール審査・発表、講評等が行われます。



(株)かんし 表彰式

その中から、機関紙「王子新労」の新年号が初めて特別賞を受賞いたしました。今回の受賞は、各支部・分会の教育広報担当者および寄稿者の皆様方の協力があったからこそだと思います。来年は、最優秀賞に選ばれるように、「親しみの持てる新聞づくり」を目指したいと思います。